

令和4年2月28日
道路局企画課

第7回日印道路交流会議を開催しました（報告）

～道路分野における日本・インド両国の技術交流～

国土交通省は、インド道路交通省と、2月25日に、オンラインにて「第7回日印道路交流会議」を開催しました。

本会議では、斜面保護に関する経験や施工技術について、両国の知見を共有するとともに、引き続き、両国の技術交流を継続していくことを確認しました。

本会議は「道路および道路交通に関する協力枠組」に基づき開催されており、2014年（平成26年）10月にインド共和国ニューデリーにおいて第1回会議を開催して以降、ほぼ毎年開催しています。第7回日印道路交流会議の結果概要は次のとおりです。

《第7回日印道路交流会議》

(1) 開催日：令和4年2月25日（金）

(2) 出席者：

[日本側] 国土交通省 道路局次長

佐々木 正士郎

道路局企画課国際室 室長 八尾 光洋 ほか

[インド側] 道路交通省 用地・国道担当副次官

アミット・クマール・ゴシュ

交通・国際担当部長

パレッシュ・クマール・ゴエル ほか



オープニングセッションの様子（左：国土交通省 佐々木次長、右：道路交通省 ゴシュ副次官）

【問い合わせ先】

国土交通省 道路局 企画課 国際室 北澗（きたま）、小嶋

電話 03-5253-8111（内線：37542）

夜間直通 03-5253-8906 F A X 03-5253-1618

(別紙) 結果概要

会議では、「斜面保護に関する経験と挑戦」「斜面保護に関する施工技術」の2つの共通テーマについて、日印双方より発表がなされた後、活発に意見交換が行われました。

【日本側発表】

- ・ 斜面防災対策について、道路防災点検の流れ、異常気象時における道路通行規制制度、道路土工構造物の点検方法等、日本の事例と最近動向を紹介しました。
- ・ インドにおける道路分野での日本の技術協力について、JICA斜面ガイドライン、インドにおける斜面对策工の事例等を紹介しました。
- ・ 道路における土砂災害について、土砂災害の被災事例、地すべり災害に対する復旧、航空レーザ測量による道路斜面リスク箇所の抽出等、日本の事例を紹介しました。

【インド側発表】

- ・ 地すべりが起きる原因について触れ、斜面を安定化させるための分析や、NHAIが道路事業を前に進めて行くための取組について紹介がありました。
- ・ 斜面を安定させる為、インドにおける排水工、アンカー工、擁壁工、植生吹付工等の施工方法や、実際の施工の様子について紹介がありました。

会議を通じて、両国の道路分野の知見を共有するとともに、引き続き道路分野における協力関係を継続していくことを確認しました。今後も日印両国の道路に関する技術交流を実施して参ります。



会議の様子